

妊娠中の歯科治療薬の使用について



麻酔薬

通常の歯科治療で使用する麻酔薬は、治療する歯の周辺のみには作用する局所麻酔ですので、血液中に入る薬の量はわずかです。お母さんの血液中へ入る薬の量は少ないため、赤ちゃんへ悪影響を与えるとは考えられておりません。



抗菌薬



セフェム系・ペニシリン系・マクロライド系の抗菌薬が使用されることがあります。妊娠中に使用しても赤ちゃんの形の異常の発生は薬を使用しない妊婦さんと同じくらいだと報告されています。処方された場合は、炎症を悪化させないために飲み切るようにしてください。

鎮痛薬

鎮痛薬の中ではアセトアミノフェンは、全妊娠期間を通して比較的安全に使用できることが知られていますが、それ以外のものは胎児に影響を与えるものがありますので慎重に使用を検討する必要があります。



point! 歯周病に 気をつけましょう



歯周病により、早産や低出生体重児が増えるとの報告があります。歯科検診を受けましょう。